



〈支援方針〉

「非認知能力」を高める

子どもたちが安心できる環境で
自己肯定感、人や社会と関わる力
生活習慣など、将来の自立に向けて
ストレスに負けない生き抜く力を
育む。

放課後等デイサービス アミスター 支援プログラム

〈法人(事業所)理念〉

～Dare to be different～ あえて違う者になれ

人や社会と関わる力、生活習慣など、将来の自立
に向けて、家庭環境や発達の特性等様々な困難
に直面する子どもたちが「生きる力」を育み、安心
して過ごせる居場所を目指す。

〈営業時間〉

月曜日～金曜日

9:30～17:30

土曜日

8:30～17:30

〈送迎の有無〉

あり



〈健康・生活〉

「自分で作る食育」

見て、触って、味わうことで本来の意味を深く知ることに繋がる食育を行っています。「食に関する正しい知識」「望ましい食習慣」「すべての人、物への感謝の気持ち」などを育みながら、毎日のおやつで自分で削った鰹節や自分たちで作った味噌を使ったみそ汁を自分で握ったおにぎりとともに「おいしいね」と顔を見合わせながら食べています。

〈運動・感覚〉

「苦手」を「やってみる」へ

畑遊びやリズム遊びなどを通して感覚や体幹、運動能力の向上を目指しています。苦手意識が強く、運動不足になりがちでも「やってみようかな」と思える活動を一緒に考えて、一緒にやってみて、小さな一歩でもできたら一緒に喜びながら、成功体験を増やし、自信へと繋げ、自己肯定感も高められるよう寄り添っています。

〈言語・コミュニケーション〉

「自分と相手の違いに気づく」

自分の考えだけでなく、相手にも同じように考えがあることを知って、その場に合った言葉選びや手段などの選択ができるよう支援しています。気持ちは「言葉」だけでなく、表情や姿勢などでも相手に伝わることを学び、円滑なコミュニケーション能力の獲得を目指しています。

〈認知・行動〉

「自律・自立ができるように」

自分を見つめ直したり、相手の良さを見つけたりと、自分と他者とが向き合うことができる療育を多く取り入れています。相手を認めて、自分を認めてもらう経験を重ねて、安定した感情のコントロールや気持ちの切り替えに繋げています。また、認め合える環境を作り出す中で、「自分ができること」に自信を持ち、自分の考えや意思によって選択や決定ができるよう支援しています。



〈人間関係・社会性〉

「インクルーシブな環境」

複合型福祉施設の特徴を活かし、さまざまな人と関わり、集団活動を通して、お互いを認め合い、受け入れ、相手の立場を考えて行動できるようになり、助け合い、自分と気の合う人を見つけて安定した関係を築いていけるよう支援しています。

〈家族支援〉

療育の様子等を連絡帳（保護者連絡ツール用アプリ「コドモン」の運用）や送迎時に伝え、定期的に面談を行い支援について共有しています。
本児が自分で考え、選択できるように一緒に具体的な方法を伝え、実践出来るようにしています。

〈移行支援〉

移行先（保育所や幼稚園、学校）へ活動の際のこどもとの関わりについてなど伝えてスムーズに移行できるよう連携をとっていきます。
高校卒業後の就労支援などの社会資源を活かして自立に向けて相談事業所とともにサポートを行います。



〈地域支援・地域連携〉

定期的または適宜に連携会議を開催し、情報収集・役割分担、具体的な場面でのこどもとの関わり方を話し合い、共有しています。

〈職員の質の向上〉

障害や幼児期の発達、障害児支援の技法や理論などについて定期的な職員研修や外部講師を招いたチームビルディングなどの研修を開催し、職員の支援スキル向上に繋げています。
自己研鑽ができるよう資格取得の機会を提供しています。

〈主な行事等〉

- 野外活動わくわく探検隊（自然をテーマとして連休や長期休暇などを利用し宿泊・キャンプイベントを実施）
- お誕生日会 ○避難訓練 ○夏祭り ○ハロウィン ○クリスマス ○おもちつき ○節分 ○ひなまつり ○震災を忘れない
- 社会体験（図書館利用、お買い物体験、リサイクル活動、お泊り会）

